

防災用品チェックリスト

ペットの健康や命にかかわるもの

フード&水(最低5日分 できれば7日分)

常備薬、療法食

食器



トイレ用品(ペットシート、猫砂、処理袋など)

首輪&リード(伸びないもの)

ケージ、キャリーバッグ

ペットの情報

健康の記録(生年月日、ワクチン接種状況、既往歴、かかりつけ動物病院など)

印刷した写真(飼い主&ペットの写真は飼い主である証明になります)

迷子札(飼い主の連絡先を記したもの。鑑札やマイクロチップだけでは、データベースを照会するため、飼い主の特定に時間がかかります)

ペット用品

ガムテープ(ケージの補修など多用途に使用可能)

おもちゃ

おやつ

その他必要なもの



すぐに持ち出せる場所に置いておきましょう

🐾日ごろからの心がけ🐾

身元表示



ペットが飼い主と離れてしまっても身元が分かるように、マイクロチップや鑑札、迷子札を装着しておきましょう。

健康管理



普段からペットの体を清潔に保ち、狂犬病予防注射、その他必要なワクチンの接種、ノミなど外部寄生虫の駆除をしっかり行いましょう。

狂犬病予防注射は毎年必ず受けさせ、注射済票は犬に装着しましょう。

預け先



親戚や友人など、ペットの一時預け先を複数探しておきましょう。

しつけ



ケージに嫌がらずに入る、無駄吠えをしない、排泄は決められた場所でする、他人や他の動物を怖がらないように日頃からしつけておきましょう。

住まいの安全対策



家具の固定など、家の中の安全対策を行いましょう。

ペットの 災害対策

日ごろからの備えと避難



災害時には、
自助(自分とペットの身は自分で守る)
が最優先です。

大切なペットを守るために
必ず飼い主が
準備しておきましょう。

荒川区保健所生活衛生課 管理係

災害に直面したときは…



まずは飼い主自身の安全確保を！

ペットは世話をしてくれる人がいないと生きていけません。まずはご自身の身を守ってください。

避難が必要か判断をしましょう

延焼の危険がある場合は、ペットをケージに入れるかリードでつなぎ、備蓄物()を持って、一時集合場所や広域避難場所などへ避難します。自宅の安全が確認できたら自宅へ戻ります。

()裏面のチェックリストを活用しましょう



避難が必要な時は「同行避難()」を！

家の倒壊や火災などで避難が必要な時は、ペットと一緒に事前に探しておいた自主避難場所や避難所などへ避難します。ペットを置き去りにしたり、放したりしないでください。後で自宅へ連れに戻ろうとして二次災害に遭ったり、街に放たれたペットが人に危害を及ぼすことがあります。

()飼い主とペットと一緒に避難すること

自宅が無事であれば
在宅避難が基本です

慣れない避難所での生活は、人間以上にペットもストレスを感じます。自宅で生活ができる判断した場合には、自宅に留まること(在宅避難)を考えましょう。

区立小中学校などに開設される一次避難所のうちペットの避難が可能な避難所があります。避難所には動物が苦手な人やアレルギーを持つ人がいるかもしれません。他の避難者に不安・不快感を与えないよう、避難所における飼育のルールを守って過ごしましょう。



震災時にペットの避難が可能な一次避難所一覧

一次避難所での飼育のルール



- ✔ 避難できるのは犬・猫などの小動物です。危険動物は持ち込まないでください。
- ✔ ペットの避難スペースは基本的に屋根のある屋外です。飼い主と同じ室内で過ごすことはできません。
- ✔ ペット用の備蓄はありません。ケージやフードを持参してください。
- ✔ 犬は年1回の狂犬病予防注射を接種済である必要があります。
- ✔ 日ごろからノミ・ダニ駆除も忘れずに。
- ✔ ペットはフタ付きのケージ等に入れ、世話は全て飼い主が責任を持って行ってください。
- ✔ 飼い主同士で協力し合いペットの避難スペースの準備や日々の運営を行ってください。

こちらもcheck

震災時のペットの一時収容場所として、民間の動物関連事業所と協定を締結しています。

施設の利用には条件があります。詳細は、二次元コードから区ホームページを確認してください。



震災時の一時収容施設一覧

ペットの記録票

いざという時のために記入しておきましょう。

飼い主の名前		
ペットの名前		
動物種	犬・猫・()	
品種		
毛色		
生年月日		
性別	メス・オス	不妊去勢(済・未)
既往歴		
性格・特徴		
鑑札番号(犬)	年度 第	号
マイクロチップ番号		
写真欄		